

留学報告書

太田明日香

私が留学したのはタイ北部に位置するチェンマイラチャパット大学です。チェンマイは古都として有名で、豊かな自然と穏やかな人々に囲まれたとても魅力的な町でした。気候は一年を通して暖かく、暑季はかなり暑いですが、乾季は過ごしやすく感じられました。

大学のキャンパスは広々としていて、のびのびと学べる環境が整っています。教職員の方々も学生に対してとても親切で、インターナショナルカレッジであるということもあり、外国人留学生には丁寧に対応してくれる印象を受けました。私自身、最初は言葉や文化の違いに不安を感じていましたが、先生方や現地の学生からの温かいサポートのおかげで、徐々に新しい環境にも慣れていくことができました。

授業面では、タイ語の会話や読み書きに加え、タイの文学や観光、ビジネスに関する科目も履修しました。語学力の向上だけでなく、タイについての理解も深まりました。授業は英語を少し交えたタイ語で進められ、比較的に簡単な言葉を使ってくださるので、初心者の私でもなんとかついていくことができました。授業ではプレゼンテーションが多く、自分の意見を積極的に伝えることが求められます。元々苦手意識があったため、最初は苦労しましたが、回数を重ねることで徐々に自信を持てるようになり、人前で話す力も身につきました。先生方は1人1人に合わせたフィードバックをくださいますので、自分自身の成長につながります。

生活面では、大学の寮に滞在していました。寮から大学はとても近いので、通学も問題ありません。寮はシンプルな造りでしたが、生活に必要な設備はそろっており、家電などは大学から準備していただけました。近くには市場やスーパー、大衆食堂などがあり、特に不自由することなく過ごすことができました。また、タイでは配車アプリが普及しているため、自分で移動手段を持たずとも、安くいろいろな場所へ出かけることができます。新しくできた友人とも、言葉の壁はあるものの、身振り手振りを交えながら日々の会話を重ねるうちに自然と仲良くなっています。週末には一緒に市場や観光地を訪れるようになりました。

留学を通じて、自分自身が大きく変わったと感じています。特に、自分の意見を持ち、伝えることの大切さを学びました。日本では周囲に合わせることが多かった私ですが、異文化の中で生活するうちに、自分の考え方や感情をしっかりと持ち、おそれずにそれを表現することが必要だと実感しました。毎日が挑戦の連続でしたが、その分、自分の成長を感じることができ、留学して本当に良かったと思います。

これから留学を考えている皆さんにアドバイスするとすれば、「とにかくやってみる」が大切だと思います。最初はうまく話せなかったり、文化の違いに戸惑うこともあると思います。しかし、おそれたまま、何もしないでいるのはとてももったいないことですし、相手には何も伝えることができません。話そうとする姿勢、伝えようとする姿勢を見せれ

ば、必ず相手も理解しようと努めてくれます。完璧を求める必要はないので、とにかくやってみることで、どんどん世界が広がっていきます。また、事前にある程度の語学力や文化の基礎知識を身につけておくと、現地での生活がよりスムーズになると思います。

この留学経験は、私にとって人生の大きな財産になりました。チェンマイという町で出会った人々、経験したこと、学んだことは、これからも私の心の中で生き続けていくと思います。留学を通して得た学びや経験を今後の人生に活かしていくよう、これからも努力を続けていきたいです。